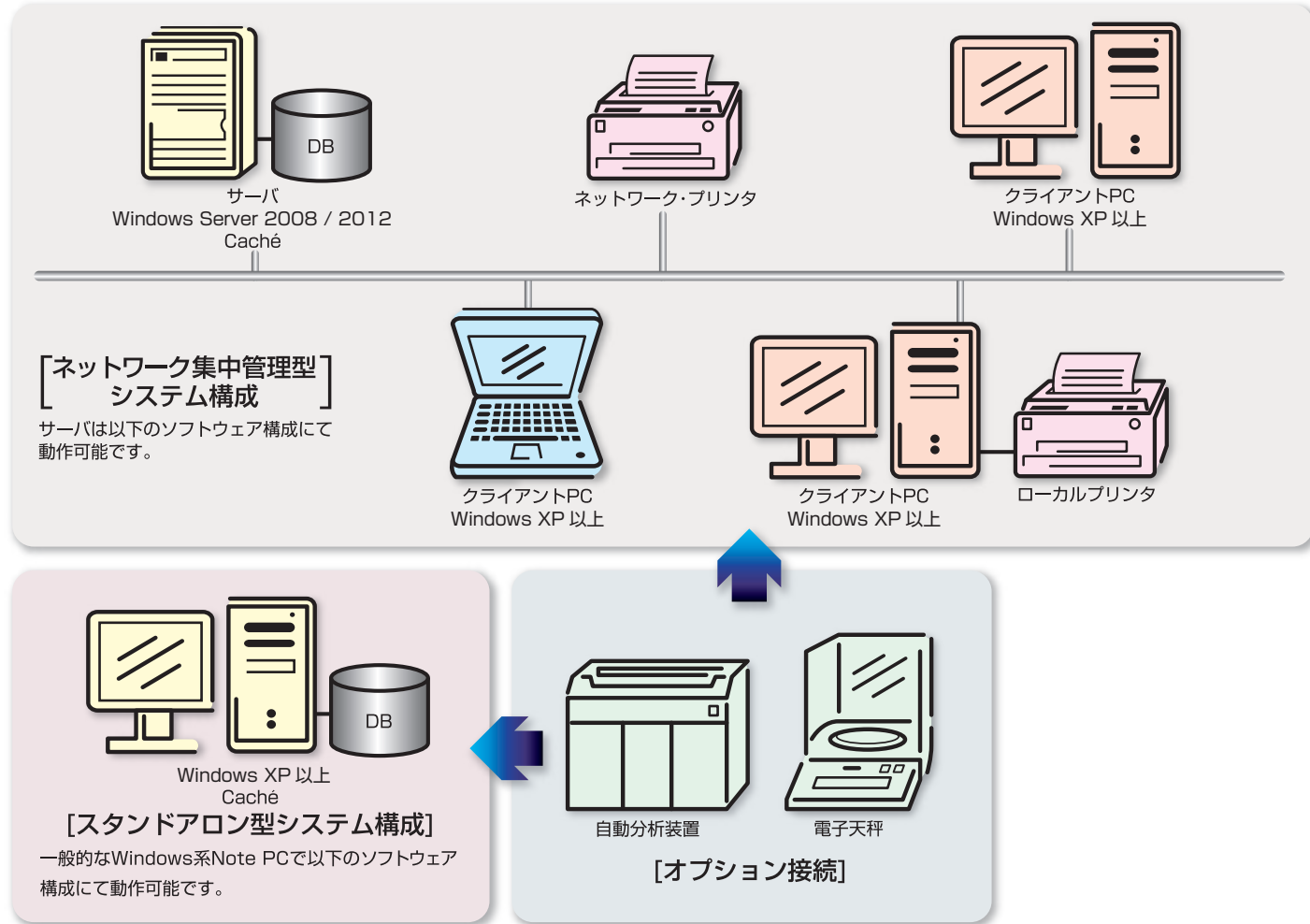


●システム構成



●ソフトウェア構成

(ネットワーク集中管理型システム)

サーバ	OS	Windows Server 2008 / 2012
	使用ソフト	Cache
クライアント	OS	Windows 7 / Windows Vista Windows XP (SP1、SP2 または SP3)
	使用ソフト	Microsoft Excel 2007/2010 Adobe Acrobat 9.0J/Adobe Reader 9.0 以上

(スタンドアロン型システム)

OS	Windows 7 / Windows Vista Windows XP (SP1、SP2 または SP3)
使用ソフト	Microsoft Excel 2007/2010 Adobe Acrobat 9.0J/Adobe Reader 9.0 以上

●業務一覧

試験計画	試験計画
入荷情報	動物の入荷
試験業務	グルーピング
	データ入力(群単位)
	データ入力(個体単位)
	データ入力(ファイル取込み)
	動物個体情報
レポート	レポートパターン
	レポート出力
マスタ管理	担当者、業務区分、項目、ブリーダ、動物種、系統、資格、単位、システム管理、ヘッダ、フッタ、出力項目パターン、アクセス状況
データ確認	背景データ

探索毒性試験システム



Drug Discovery Screening System



●仕様および記載内容は事前に予告なしに変更することがあります。
●このカタログで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。
●製品、サービス等の詳細についてのお問い合わせ、ご相談は下記営業所まで申し付け下さい。

●Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
●Excelは、Microsoft Corporationの登録商標です。
●Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの登録商標です。
●Cacheは、InterSystems Corporationの登録商標です。
●SASは、米国 SAS Institute Inc. の登録商標です。
●その他、記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

●ご用命・お問い合わせは

ビジネス事業本部 営業統括部
〒261-8501 千葉市美浜区中瀬 1 丁目 3 番地
TEL. 043-274-6165 FAX. 043-274-6185
E-mail : info-e@msr.co.jp

コンパクト・フレキシブルな業務作業を可能にした探索毒性試験システム。運用面の大幅な効率化により試験進捗の迅速化とコストダウンを実現します。

従来のGLP準拠のシステムにおける探索毒性業務は厳密な管理下におかれ、データの信頼度が高い反面、自由度の低い運用を強いられていました。探索毒性試験システムはGLP準拠のMiTOX(安全性試験システム)の技術を応用し、データの信頼度を維持しつつコンパクト・フレキシブルさをメイン・コンセプトに開発しました。また将来的なPart 11対応をサブ・コンセプトとして開発し、マスタを含む測定データ全ての履歴が管理・記録されており、オーディットトレイル機能(オプション)の実装も可能です。探索毒性試験システムは作業者の負担を大幅に軽減し、効率的な探索毒性業務の運用を実現します。

マスタ管理機能

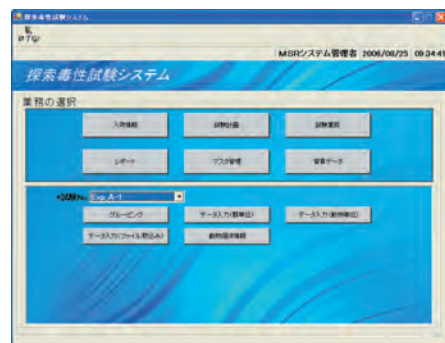
探索毒性試験システムで扱う業務や測定項目、ユーザ情報などは全てマスタ管理されています。従来のGLP対応システムは業務内容や測定項目が固定され、業務や項目が追加された場合、ベンダーに仕様変更を依頼していましたが、本システムではユーザによる設定が可能となり、コストダウンだけでなく運用面においても大幅な効率化を実現します。

機能性に優れた帳表出力

従来の試験システムは体重・餌・水・尿・血液など1業務1帳表の出力ですが、探索毒性試験システムは複数業務の測定項目の中から、帳表に印字したい項目が自由に選択できます。またレポートの縦軸横軸の入れ替えが可能となります。さらにPDFファイルやSAS前臨床パッケージ用のExcelファイル作成機能を標準で装備しています。

【メニュー画面】

本画面から全ての業務を実施することが可能。業務は、資格管理されており、ユーザIDにより実施可能な業務が異なります。



【背景データ画面】

業務・動物種・系統・雌雄・相対日などから背景データを確認することが可能となります。



機能的なデータ入力画面

群単位・動物単位・ファイル取り込みのデータ入力画面が装備され、作業者に優しいインターフェースとなっています。自動分析装置にCSVファイル出力機能が備わっている場合は、CSVファイルから対象動物のデータを一括で取り込むことが可能となります。

施設の規模に合わせたシステム構成

施設規模が小さい、運用人数が少ないなどのコスト的に安全性試験システムの導入が困難な場合でも、本システムは一般の業務用PC(Note PC可)にインストールし、スタンドアロン型で運用することができます。

スケジュールやアサメントに縛られない運用

GLPシステムのようにアサメントなどの煩わしい業務をすることなく、任意のタイミングで1日複数回のデータ入力がおこなえます。また急な試験項目の追加があっても、マスタに追加することで測定・入力することが可能となります。

背景データ

入力データの検証に役立つ背景データ機能を標準装備。業務毎に動物種・系統・性別・年齢・相対日などから当該試験を絞り込み、試験データの検証に役立ちます。

担当者、業務区分、項目、システム管理、ヘッダ、フッタ、出力項目パターンなど。

マスタ登録

業務測定項目の追加

試験計画

試験計画設定

動物入荷登録

グルーピング

【データ入力画面】

複数の動物に対しての作業には群単位、ある動物の複数項目に対しての作業には動物単位、CSVファイルからの一括データ入力にはファイル取り込みのように作業用途によって使いやすいデータ入力画面を選択できます。



【レポート出力】

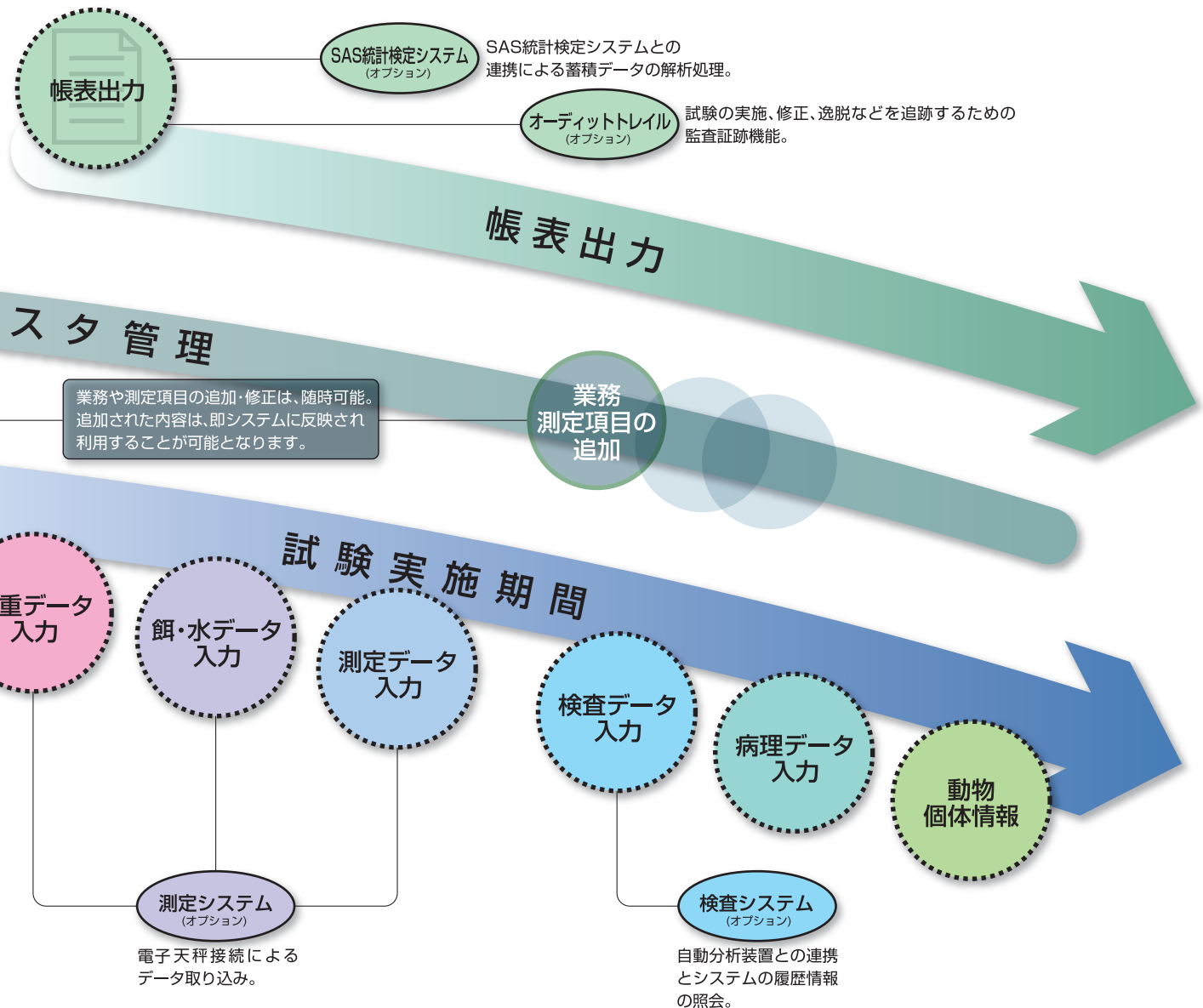
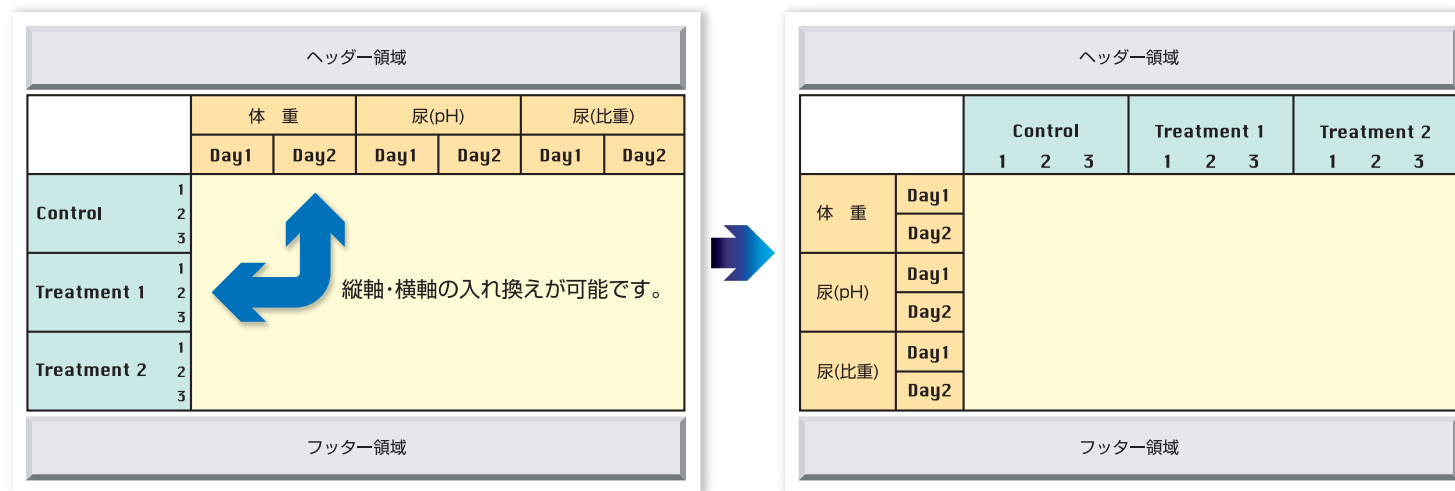
レポートパターン・項目パターン・出力対象期間・ヘッダやフッタ内容・個別もしくは総括表の選択・帳表レイアウトの選択・出力優先項目の設定をおこない、自由度の高いレポート出力が可能となります。

- 選択されたフォーマットにて、Excel、PDFに出力。
- SAS前臨床パッケージ用Excelファイルの出力。



●帳表出力

帳表を出力する際にレイアウトの縦型・横型が自由に選択できます。また体重・尿などの複数の測定項目を1つの帳表に出力できます。



探索毒性試験システム

Drug Discovery Screening System